

更生管用支管

自立更生管に対応した
耐震性支管

メカラリク支管KK

自立更生管に対応しました!!



不明水対策!!

優れた水密性!!

耐震性!!

耐久性!!



株式会社 サンリツ





更生管に対応

- 既設管ではなく、更生管（自立管）に直接取付することにより、漏水・不明水に対応しました。更生管の管厚は6~15mmまで対応します。

水密性

- 屈曲変位15°かつ本管偏平5%の状態で外水圧及び内水圧ともに0.1MPaの水密性能があります。

耐震性

- 可とう性、伸縮性が高く、地震などの震動を吸収します。

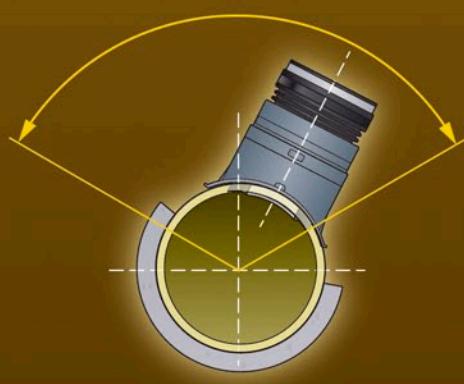
耐久性

- 樹脂部はABS樹脂、受口ゴムはEPDM、ステンレスバンドはSUS304、ステンレスツメはSUS821L1など優れた素材で構成しました。

施工性

- 特殊な技能や治具を必要としないので、初心者でも簡単、確実に取付できます。
- 番線や接着剤を使用しないので、雨天時、水場でも作業ができ、養生時間も不要なので、即、埋戻しができます。
- 60MLは浅埋設に対応します。

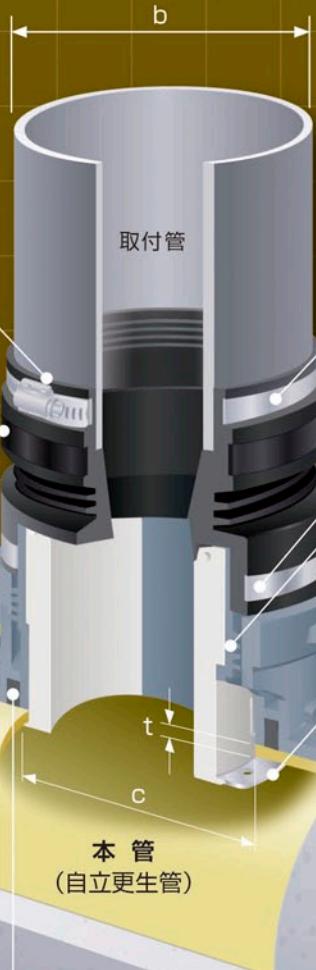
管頂120°の間に取り付ける



各部の名称

取付断面図

90°
タイプ



受口ゴム

ジャバラ形状により、
取付管の変位に追従し、
可とう性・伸縮性を有します。
材質: EPDM

受口バンド

受口ゴムの追従性と
密着性を高めます。
材質: ABS樹脂

浅埋設対応

60°

60°
タイプ



ステンレスバンド

受口ゴムに挿入された
取付管と受口ゴムを締付けます。
材質: SUS304又はSUS316

ステンレスバンド

樹脂本体と受口ゴムを締付けます。
材質: SUS304又はSUS316

樹脂本体

二つの部材で組み合わされ、
ツメ部との固定を行います。
材質: ABS樹脂

ステンレスツメ

材質: ABS樹脂及びSUS821L1

ハンドル

回転させることにより
樹脂本体を引きあげます。
材質: ABS樹脂

スカート

本管と支管本体を固定し
安定を高めます。
材質: ABS樹脂

ゴムパッキン

機械的に締込まれた、
本管と支管との間を止水します。
材質: SBR/IR (水膨張性ゴム)

注文に必要な情報

メカロック支管KKの
注文には右記①~③の
情報が必要になります。

① 更生管の種類 : 更生管が自立管であることと、工法名を確認してください。
※複合管および二層構造管には対応していません。

② 更生管の厚さ : 更生管の厚さによってツメ種類が異なります。

③ 既設管の管径 : 既設管の管種と管径を確認してください。

管種別対応表

本管管種	製品番号	サイズ 本管 (a) × 取付管 (b)	適応せん孔径 (c)
自立更生管	ML-KK2510	250 × 100	118～122
	ML-KK3010	300 × 100	
	ML-KK3510	350 × 100	
	ML-KK25125	250 × 125	168～172
	ML-KK30125	300 × 125	
	ML-KK35125	350 × 125	
	ML-KK2515	250 × 150	168～172
	ML-KK3015	300 × 150	
	ML-KK3515	350 × 150	

ステンレスツメ対応寸法

ツメ種類	適応管厚 (t)
A	6～9
B	9～12
C	12～15

●管厚によって製品が
異なります。更生管
の種類・管厚を確認
してください。

※更生管の厚さは一定
ではないため、製品
を取り付ける位置の
管厚を確認してください。

*注文の際は下記のように製品番号の記載をしてください。

※製品は90°タイプと60°タイプが有ります。(取付管φ125用は90°タイプのみ)

タイプ* 製品番号 ツメ種類
□ ML-KK □ - □

例) 90°タイプ 250×100
ツメの種類Aの場合

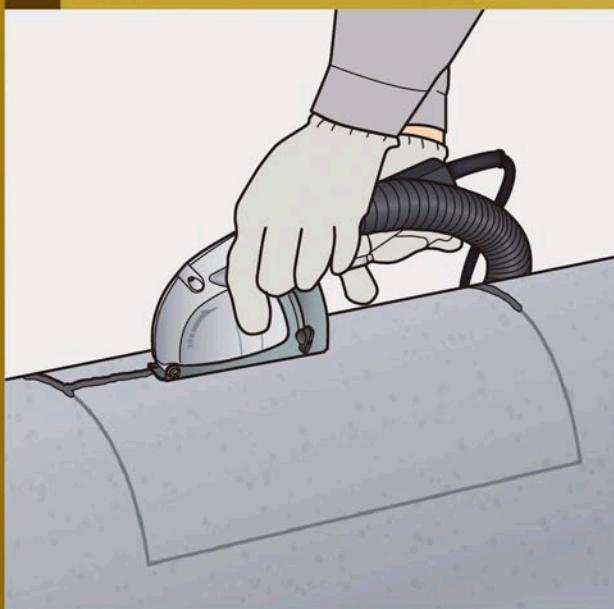
90ML-KK2510-A

建設技術審査証明範囲

施工手順〈既設管撤去〉

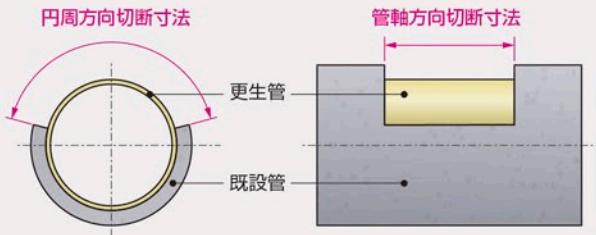
必要工具の点検 ●ディスクグラインダー ●バール ●ハンマー

1 既設管の切断



製品取付部分をディスクグラインダー等で切断し既設管を取り除きます。切断深さは既設管の70%程度です。

※更生管を傷つけないようにしてください。



■既設管切断寸法

単位:mm

	取付管径 φ100	取付管径 φ150
円周方向切断寸法	330 以上	370 以上
管軸方向切断寸法	240 以上	270 以上

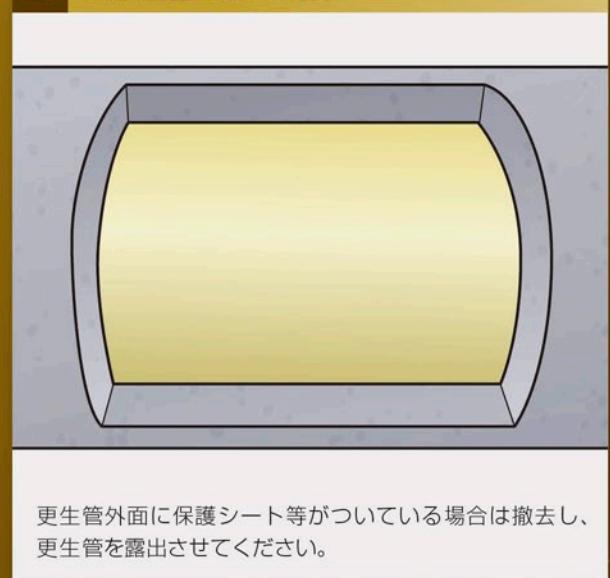
2 既設管の撤去



切断した既設管をバール等をもちいて取り除きます。

※更生管を傷つけないようにしてください。

3 既設管撤去部の清掃

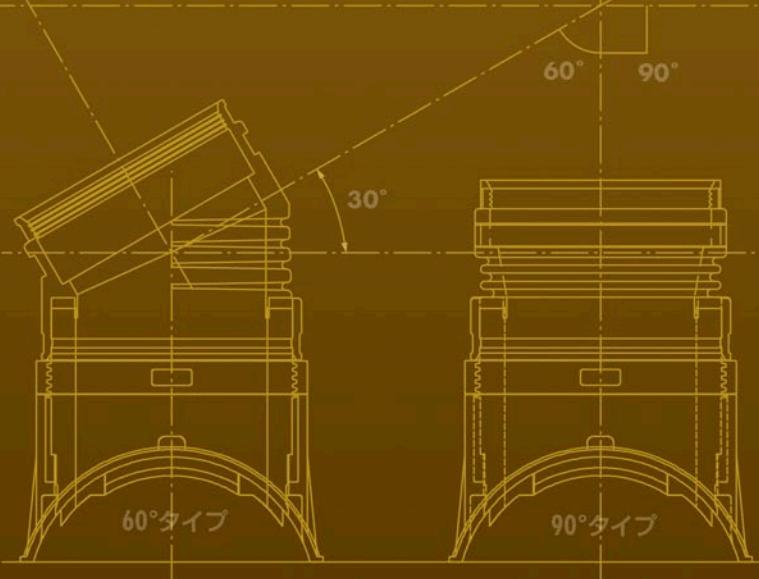


更生管外面に保護シート等がついている場合は撤去し、更生管を露出させてください。



施工方法は、HPにて動画で確認できます。

www.sanritsu.com



施工手順〈支管設置〉

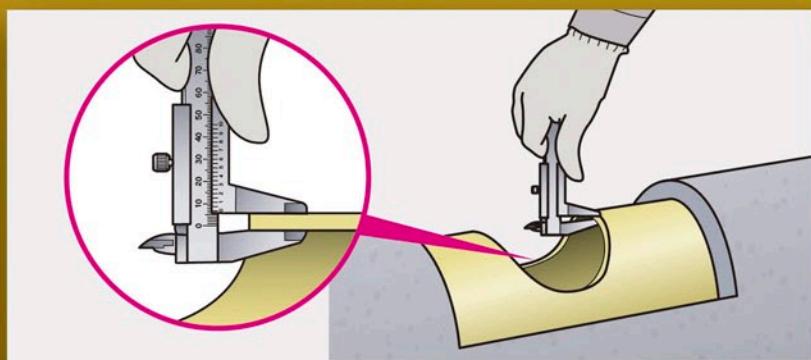
必要工具の点検 ●ホールソー ●ボックスドライバー ●ウエス ●ノギス

1 更生管のせん孔



更生管にせん孔を行います。

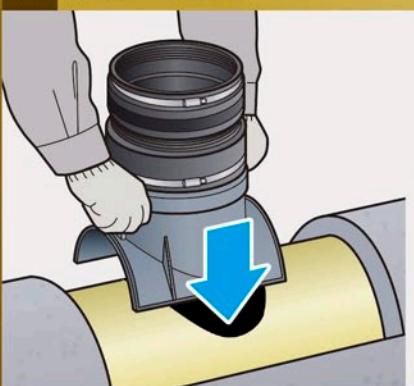
〈適応せん孔径〉
φ100 : 118~122mm
φ150 : 168~172mm



ツメがかかる管頂部の厚さを測定してください。

更生管用のメカロック支管は管厚によって製品が異なります。製品の取り付け前に更生管の種類・厚さを確認してください。更生管によっては、同じ管でも管厚が異なる場合があります。支管設置位置ごとに管厚を測定してください。

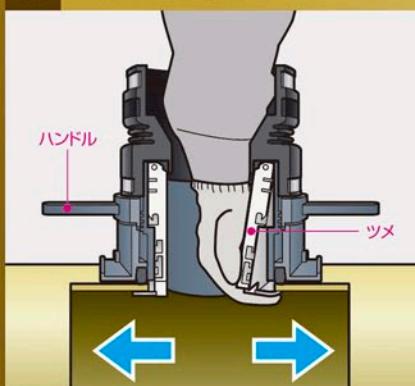
2 支管のセット



せん孔位置に合わせてメカロック支管をセットします。

※設置前に必ず管厚を測定し、製品の適応範囲内かを確認してください。

3 ツメのセット



ツメをやや引き上げながら両側へ広げて、確実にセットします。

※ツメが確実に収まったか、確認してください。

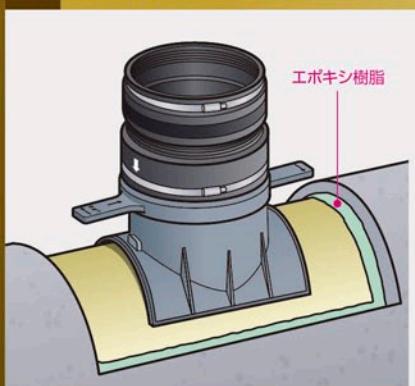
4 ハンドルの締め込み



封印シールをはがして、ハンドルを一回転半(時計回り)させ、ストッパー位置まで締込みます。

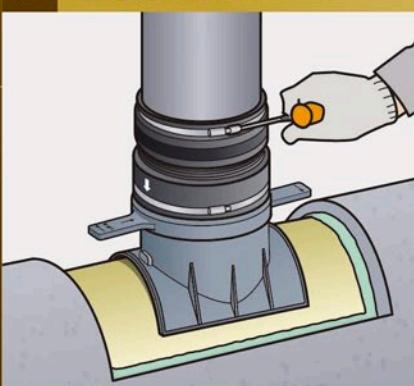
※ストッパー位置ではハンドルの矢印「↑」と受口ゴムの矢印「➡」が合います。

5 既設管と更生管の隙間処理



既設管と更生管の間はエポキシ樹脂を用いて止水処理を行います。

6 取付管の接続



取付管を受口ゴムに差し込み、ステンレスバンドを充分に締め付けて施工完了です。

△注意事項

- ハンドルは本管取付時まで回さないでください。
- せん孔径をご確認ください。
- 取付管の面取りは必要ありません。
- ステンレスバンドを締める時はボックスドライバーなどを使用してください。締付トルクは5~7N·m(約50~70kgf·cm)
- 取付終了後、メカロック支管の周囲は充分締め固めてください。

性能評価

公益財団法人 日本下水道新技術機構 建設技術審査証明

下水道技術

公益財団法人 日本下水道新技術機構において令和2年3月17日に建設技術審査証明された内容は以下の通りです。



- (1) 可とう性：本管と取付管の接続部は、取付管の屈曲角15°の変位、かつ管外径の5%の偏平が生じても、外水圧0.10MPaおよび内水圧0.10MPaに耐える水密性を有すること。
- (2) 伸縮性：取付管軸方向の変位量+30mm、-25mmの伸縮量を有すること。
- (3) 突出し試験：取付管軸方向に荷重を加え、突出し荷重が取付管管径100mmは9.8kN以上、取付管管径150mmは20.6kN以上の荷重に耐えること。
- (4) 曲げ試験：本管周方向に荷重を加え、曲げモーメントが取付管管径100mmは0.69kN·m以上、取付管管径150mmは1.18kN·m以上の荷重に耐えること。
- (5) 物性：受口ゴムは「JIS K 6353 水道用ゴム」(I類A)に規定する物性を有すること。ゴムパッキンは、プラスチッククリップパイプ協会規格に規定する物性を有すること。塩化ビニル樹脂は、「下水道用硬質塩化ビニル管 (JSWAS K-1)」に規定する物性を有すること。ステンレスバンドは「JIS G 4303 ステンレス鋼棒」に規定する化学成分を有し、ステンレスツメは「JIS G 4304 熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定する化学成分を有すること。ステンレスツメは5%および10%硫酸溶液の長期浸漬試験において、質量変化がないこと。ステンレスツメは、水、塩化ナトリウム水溶液(10%)、硝酸(40%)、水酸化ナトリウム水溶液(40%)の浸漬試験において、0.3%以下の質量変化率であること。ステンレスツメは、「下水道用硬質塩化ビニル管 (JSWAS K-1)」と同等以上の耐摩耗性を有すること。
- (6) 施工性：既設管をはつり、傷つけずに撤去ができる。本管への取り付けは、せん孔後1.5分以内で完了できること。

適用範囲

本管管種：更生管

呼び径：(本管×取付管)

250×100・250×150

300×100・300×150

350×100・350×150

SANRITSU 株式会社 サンリツ

■ 本 社 〒930-3251 富山県中新川郡立山町上中143番地
Tel.076-462-9325 Fax.076-462-9334
✉ mail@sanritsu.com
www.sanritsu.com

■ 技術センター(相談窓口) ☎ 0120-300-635

■ 関 東 支 店 Tel.048-686-8892 Fax.048-686-8849

■ 北 陸 支 店 Tel.076-462-9328 Fax.076-462-9334

■ 名 古 屋 支 店 Tel.0568-71-0699 Fax.0568-71-0944

詳しい情報はホームページで

サンリツ メカロック支管KK

Q.検索

※このカタログに記載の寸法・仕様などは製品改良などにより予告なく変更する場合があります。

2024.7現在